

調査の概要

1 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、児童生徒の学力や学習状況を継続的に把握・分析し、大阪市教育振興基本計画に基づく教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) 以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査の対象：中学校第3学年・義務教育学校後期課程第3学年の全生徒（悉皆調査）
129校 15,477人

3 調査内容：(1) 教科に関する調査
国語・数学・英語（※英語は3年に1度程度の実施）
(2) 質問紙調査
児童生徒に対する調査
学校に対する調査

4 調査日：令和5年4月18日(火)

5 これまでの取組と本年度の結果の概要

- ・ 本市においてはこれまで、全小学校・中学校・義務教育学校を対象として、教育ブロック担当指導主事やスクールアドバイザーなどから構成される「支援チーム」が、担当校の実態やニーズに応じて支援を行う「学力向上支援チーム事業」や、各教育ブロック内の学校や地域等の実情に応じた支援を行う「ブロック化による学校支援事業」の実施などを通じて、各学校に応じたきめ細かな支援を行うとともに、教育委員会と学校が一体となった取組を継続して進めてきました。
- ・ その結果、前回調査と比較して、数学において若干下降し、国語・英語は横ばいです。
- ・ 平均無解答率については、全国より高い状況です。また、学力層に着目した分析では、学力に課題のある児童生徒（区分Ⅳ）の割合について、前回調査と比較すると、全国との差は縮まりつつあります。
- ・ このように、全体的な改善傾向にあるものの、依然として全国水準には達しておらず、さらなる教育指導の充実が必要です。「大阪市教育振興基本計画」において、基本的な方向として掲げる「誰一人取り残さない学力の向上」の実現に向け、児童生徒一人一人の学力状況等を客観的・経年的に分析し、データ等の根拠に基づいたきめ細かくて継続した指導・支援を通じて、大阪市のさらなる学力向上につなげていきます。

6 平均正答率・平均無解答率

		国語	数学	英語
平均正答率(%)	大阪市	67	49	44
	全国	69.8	51.0	45.6
平均無解答率(%)	大阪市	5.2	11.0	6.6
	全国	4.6	9.6	5.7

調査の概要

1 調査の目的

- (1) 子どもの体力・運動能力等の状況に鑑み、国が全国的な子どもの体力・運動能力の状況を把握・分析することにより、子どもの体力・運動能力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会、各国公立学校が全国的な状況との関係において自らの子どもの体力・運動能力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、子どもの体力・運動能力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各国公立学校が各児童生徒の体力・運動能力や運動習慣、生活習慣、食習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

2 調査の対象：中学校第2学年

3 調査事項：(1) 実技に関する調査(新体力テスト) [8種目]

※持久走か20mシャトルランのどちらかを選択して実施する。

(2) 質問紙調査

児童生徒に対する調査

学校に対する調査

4 調査実施日：令和5年4月～令和5年7月

5 大阪市立学校の参加状況：中学校128校、義務教育学校後期課程1校が参加(参加生徒数 15,201人)

6 調査結果

		握力 (kg)	上体起こし (回)	長座体 前屈 (cm)	反復横と び(回)	持久走 (秒)	20mシャ トルラン (回)	50m走 (秒)	立ち幅と び(cm)	ボール投 げ(m)	合計得 点
男 子	大阪市	28.62	26.21	42.04	51.65	417.51	79.05	8.05	194.78	19.88	40.79
	全国	29.02	25.82	44.16	51.22	409.02	78.07	8.01	197.02	20.40	41.32
女 子	大阪市	23.11	22.12	44.78	46.25	313.19	52.11	9.03	165.29	12.10	46.99
	全国	23.15	21.62	46.27	45.65	306.26	50.70	8.95	166.34	12.43	47.22